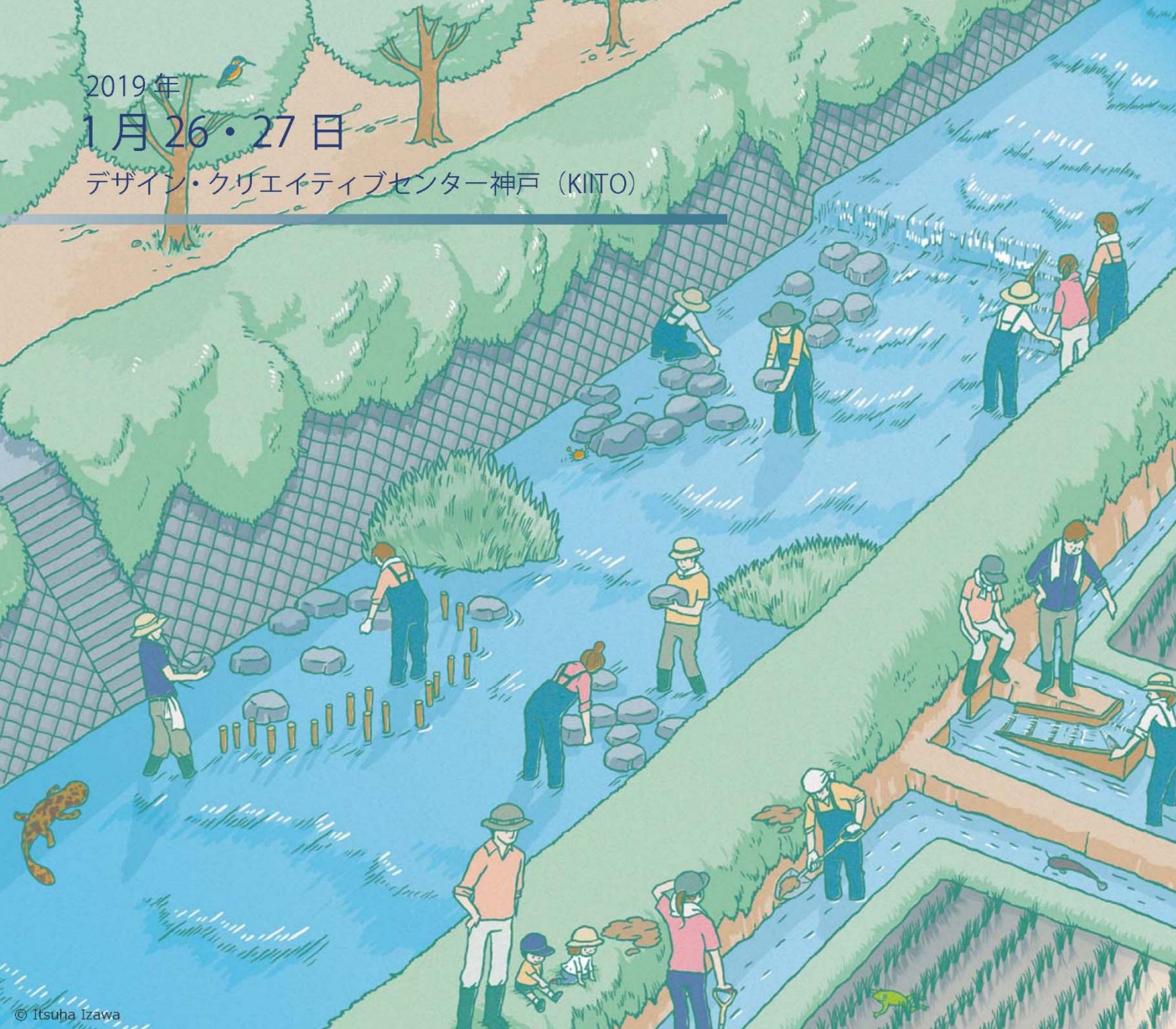


2019年

1月26・27日

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KITO)



© Itsuha Izawa

# 小さな自然再生サミット

～できることから始めよう～ 2019 神戸大会

## 参加者アンケート集計結果

**JRRN**  
Japan River Restoration Network

日本河川・流域再生ネットワーク

# 小さな自然再生サミット 2019 神戸大会 アンケート集計結果

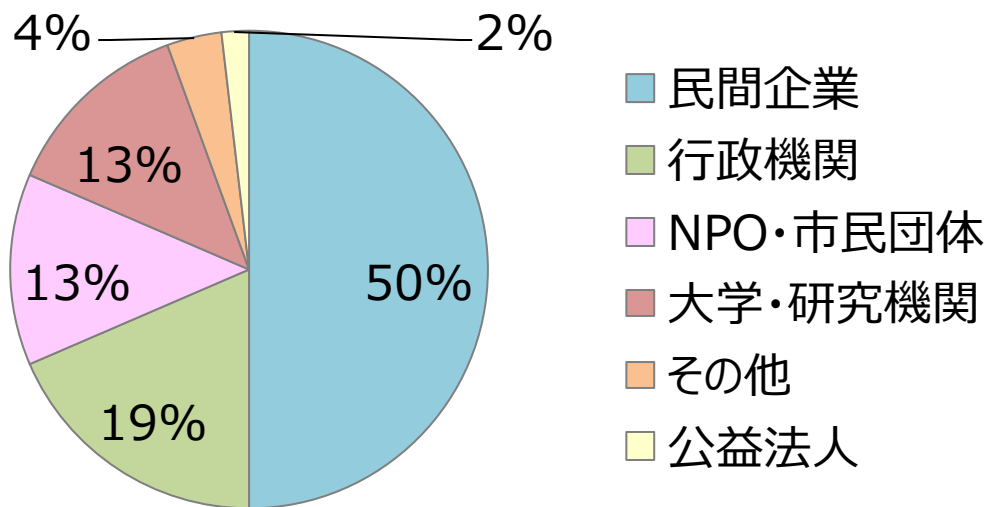
日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)

サミット当日にお配りしたアンケートに対し、**54名**の方々よりご回答を頂きました。皆様より頂戴した貴重なご意見は、“小さな自然再生”の更なる普及に向けて積極的に活用させていただきます。

アンケート調査にご協力頂きまして誠にありがとうございました。

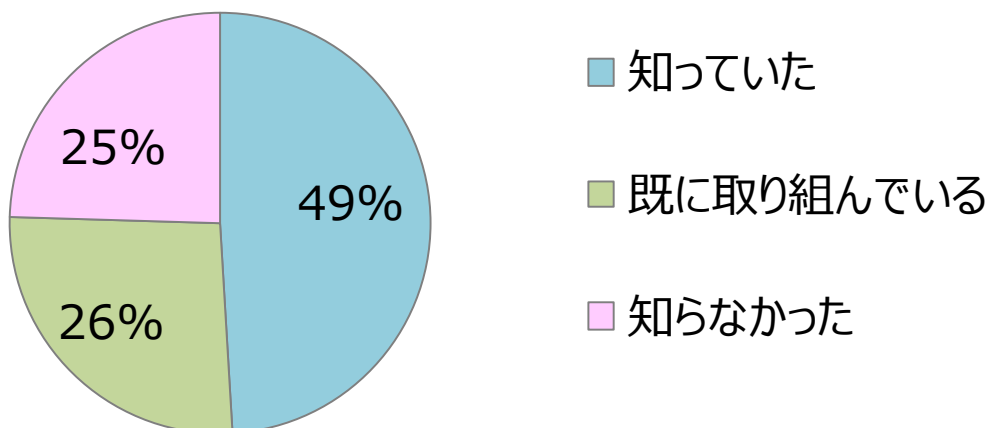
## 1. 所属団体をお聞かせください

NPO・市民団体 / 民間企業 / 行政機関 / 大学・研究機関 / 公益法人 / その他



## 2. “小さな自然再生”をご存知でしたか？

既に取り組んでいる / 知っていた / 知らなかった / その他 ( )





### **3. 本日のサミットで得られたこと、驚いたこと、疑問に感じたことなど、あなたの感想をお聞かせください。**

- 「小さな自然再生」は今のところ簡易魚道の設置がメインなのかと感じました。自然再生とは、魚道設置により魚の移動を妨げないようにすることだけではなく、樹木の植栽、小さな池を作って止水域に住む生き物の生息場を確保するなど、もっと広い意味があると思います。今後、魚道設置以外の事例が増えることを期待します。
- ぎよぶたんぼ、良い取り組みだと思いました。
- ぎよぶたんぼの元気さは希望です。見習いたいです。
- 魚道の取り組み方、作り方等を自分達で作ってること。
- 仮説の魚道設置の取り組みが多いことがよくわかった。
- 魚道の設置に向けてのプロセスや構造などの技術知見も得られて良かった。
- 小さな自然再生ではバープ工や魚道を使って生き物に優しい環境づくりをしているということは切に思った。
- 全国各地で行われる小さな自然再生の概要、バープ工や魚道設置の方法について知ることが出来、良かった。
- バープ人気ですね。
- 簡易魚道がいろんなところで設置する取り組みがあることは知らなかった。恒久的な魚道をお金をかけてコンクリート製、公共事業でやるものと思っていた。
- バープで流れに変化をつけている事例がいくつかあること、参考になった。
- 地域の様々な事例が聞いて良かった。
- 市町・県・国の異なる行政体の体制、関わりの枠組みが聞いて参考になった。
- 事例が増えていて、すごく充実してきたなと思った。ただ、「何のための自然再生」なのかが語られていなかったのが残念。
- 各地の事例が多く紹介され、非常に面白く、ためになった。
- 自分のフィールドでも活かせそうなアイデアが得られた。
- 日本各地で多様なたくさんの取り組みが行われていることに驚いた。工夫が全国で共有されると良いと思います。
- 全国で様々な取り組みがされており、驚きました。もっと情報収集し、参加できたらと思います。
- 全国的にこれほど取り組みが行われていることに驚きました。
- たくさんの事例があることを知りました。
- 全国の事例、取り組みを知ることができ、良かったです。特に前段で川づくりのためには、まずどうありたいか、どうすべきかを考えてから技術を活かすということは、その通りと思い知らされました。
- 全国各所で取り組まれている活動が知れて良かった。
- 竹蛇かごによって魚類の遡上効果にかなり驚かされた。
- 竹の活用。地域の活発な取り組み。
- 竹蛇かごが効果的だということを知って大変興味があった。武庫川でも使えないか検討したい。
- 竹かごの簡易魚道の効果が高いことが驚いた。
- 魚道改善が魚類の生息バランスへの変化をもたらすことがよく分かった。
- ポータブル魚道や竹の魚道は知らなかったので面白かった。島谷先生の話は勇気づけられた。
- 魚道に取り組んでいる人が多く、その考え方や形式が大きく異なることに驚いた。
- 河川における自然再生の取り組みは、これまで触れたことがなかったので、様々な取り組みを知ることができ、とて

も興味深かった。精力的な方々が多く驚いた。

- 本当に多くの方がアツイ思いと共に取り組まれているのに驚きます。
- 本気で色々やっている人々はまだまだいることが大変嬉しい。
- 誰かがやらないといけないことを進んでやる熱い気持ちを持った人がこんなにも多いと驚いた。
- 自然素材を活用した魚道の取り組みは参考になった。
- 生物多様性のみでなく、人との関わりを目的とすることに感心しました。
- 皆さんの創意工夫が、話術も含めて良く伝わってくる発表だったと思います。ありがとうございました。
- やはりまずその地元に密着した人間が動き出さなければ、行政主体では効率的に動き出さないことを実感します。自分にもできることを考えたいですが、身近に川がない！
- 主流化を進めるのであれば、マニュアル化は必須と思います。川を再生したい、でもやり方がわからないという時に、まずベースとなる普遍的なやり方をマニュアルに沿って始める。その後、順応的に変えていくという形が取れることが重要だと思います。マニュアルがないと、イメージがわからず、スタートに繋がらない。
- 自然再生も魚道もツールであることを見失わないようにしないと、と感じた。のぼらせることが目的？と感じた面もあった。
- “こうしよう”のマニュアルではなく、“これはだめ”のまとめも有効では？
- 「小さな」という言葉にハッとさせられた。どうしても大きな予算で考えてしまうので（つかなければ無理）、低予算でも出来ることは工夫次第で色々あるのだなと感じた。
- 人手や予算が足りない中で、工夫や地元の協力を仰ぐなどして、実験を検証していてすごいと思った。
- やはり地道な活動、地域への浸透、予算が大事かなと感じた。
- 三橋氏：現代アートへの取り組み、見た目と工学とのM I Xもあってすごく良い。
- 鉄鋼ラボ→面白い。
- 継続には違う切り口や遊び心、工夫も必要。
- 造的のブロック工法にも類似性
- 資金調達→素人からの事業参加という点、クラウドファンディングや起債もさらに活用、行政の側面支援もさらに必要。
- 行政側の発表が多いのに驚いた。
- 自治体の取り組みが増えましたね。
- 各団体が住民と連携していること、財源を独自に確保されていることに感心した。
- 市民連携はかなり前からあったが、これほどコラボができてすばらしい成果が上がっているとは知らなかった。大いに嬉しい。
- 小さな自然再生は地域づくりの一部となっていると感じた。川を中心とした「小さな自然再生」の交流だけでなく、他の分野での地域づくりの取り組みも含めたサミットがあってもいいような気がしました。
- 小さな自然再生で地域の人たちと一緒に進めていくことが大前提にあると思いました。最初にしか活気がないということも、武庫川の事例のように、イベントのように実施でき、定着させることができればよいと思いました。
- 多くの活動事例の話を通じて、非常に幅広い目的、体制、手法のもと、実際に活動が進んでいることが想像以上で驚いた。
- 活動資金として岐阜県の森林環境税のような事例が広がれば良いなと思いました。
- 優良事例だけでなく、失敗事例もあると良いと思います。
- 市民、子供が川に入るためのアプローチを作る小さな自然再生があると面白いと思います。

- 生物や自然の研究者からのアプローチが多い気がします。土木技術者から取り組む人が増えれば面白いと思います。
- 河川と農業用水路をつなぐ事例がいくつかあったが、部局、スライクホルダーの枠を超えた取り組みがさらに必要になってくると感じた。
- 「何の為に自然再生してるのか？」（魚？人と自然のつながり？ゴミ？etc）をもっと掘り下げて聞いてみたかった。
- 「小さな自然再生」の取り組み方に、多様な方法があることに驚きました。それぞれが興味深い内容でした。
- 魚道の設置に関する試行錯誤の過程が、いろいろお話しが聞けて参考になった。
- クラウドファンディングによる挑戦については、今までになかったお話しなので、大変興味深かった。
- いろんな事例を聞く中で、原因究明～解決に向けての取り組みや失敗例を聞いたのが良かった。
- 大変勉強になり、参加して良かったと思いました。自分が関わらせていただいている川にも応用してみたいものがありました。
- 全国の事例を聞くことができ貴重な時間になりました。
- 司会の方が上手だったのか、参加者の素直な意見を聞くことができ楽しかった。
- 知らないことがたくさんあり、勉強になりました。
- 浜野先生には、いつもお世話になっております。この場で色々な方から先生の名前が出てびっくりしました。改めて、先生の活躍のすごさを思い知りました。

#### **4. あなたが “小さな自然再生” に取り組む上で、さらに必要な情報、技術やサポートなどはありますか？**

##### **【情報（実施体制、事例、技術、工夫 etc.）】**

- 官との連携方法
- 行政との関わり方
- 地域の巻き込み方
- 地域の人々を巻き込むためのイベント、ファシリテーションのやり方を勉強したいです。
- 一般市民に取り組むための手法。
- 地元の人への引き継ぎ方も、どのようにアプローチしていけばよいのかが知りたい。
- 参加者の内訳、人数、活動した日数など
- 活動日や時間帯の詳細な情報が知りたい。
- 自分達の気持ちをどのように続けるか。
- 雰囲気づくり、盛り上げるための情報
- 最初の立ち上げる時の工夫や苦労。
- さらにいろいろな事例を聞きたいと思った。
- 学生のうちに取り組む中で、失敗してしまった時に、どのようなフォローをしたらよいのかが知りたくなった。
- 近くで小さな自然再生に取り組んでいる団体を知りたい。
- 各都道府県での情報、特に図面とか、整理されていますでしょうか。
- 香川工専高橋氏説明事例、とても興味あり。すそのの拡がりも水域 NETWork 然り。

- 維持管理、監視を継続するための仕組みを構築し、全国で事例を共有していくことが重要と感じている。
- これからバープ工に取り組む、見試しの技術であるから、行政とのコラボが大事。
- 水際や天端の自然再生の工夫が知りたい。

### 【サポート（問合せ窓口、ナレッジサイト、事例集、技術指針、研修機会 etc.）】

- 技術的な相談をできる人の紹介
- 島谷先生がおっしゃっていましたが、聞きやすい、質問しやすい場があれば嬉しいです。
- 島谷先生が言われたように、相談窓口ができるとうれしいです。
- 各地の事例をまとめたポータルサイト
- HP で活動状況（中間・経過・完成等）皆さんの頑張りが見えると楽しそうです。
- 様々な手法、仕組みが可能のため、新規にはじめる場合の参考となるデータベースは既にあるが、さらにキーワード検索できるなど利便性を高めてもらえると嬉しい。
- 全国各地で行われている取り組みをどんどん紹介してほしい（失敗事例も含めて）。
- 全国の取り組み状況が現在進行形で共有できるものがあれば良いと思う。
- 全国の取り組み状況が分かるようなサイトがあれば参加しやすいかと思いました。
- 失敗の事例集があるとよい。
- ほとんどの国交省業務での保全措置等の検討では、成功事例がないと提案が難しいのが現状かと思います。事例が表（ネット、本等）にもっと出れば、提案の可能性が広がると思いました。自分でももっとアンテナを張り、参加や情報収集していければと思います。
- マニュアルは要らないという言葉もありましたが、設計基準、管理基準などの課題を感じます。
- 水辺の小わが魚道のような図書（魚道の構造、どのような機能を持つか、どれだけの能力があるか（モニタリングのデータ））があると、技術提案しやすい。（データがないと、なかなか話を聞いてくれない、採用に至らない）
- 事例情報、スキルを身につける研修
- 事例を見ながら現場にもいきたいと思います。
- 学識者と相談して造ってみました、モニタリングしました、改善しました、という流れが自然かと思いますが、無駄になるかもしれない、魚道などが流されるなど全く機能しないというリスクもあり、組織内の上層部の方が揃って積極的にならないと厳しい取り組みと思います。要は上層部（課長等）からの旗振りが行われやすくなるような、一般的な浸透が進めばと思います。
- これからも続けていただき、益々自然再生に沢山取り組んでいただきたいです。
- 今後も是非続けてほしい。

## **5. 本日のサミット運営はご満足頂けましたか？ 改善点があればご教示下さい。**

### ＜会場・設備＞

- 途中で部屋の締切による保温にも配慮があって、助かった。
- 内容については文句はありません。会場が寒かったのが残念。
- 寒かったです。
- 会場内がやや寒かった。

- 初めは会場が寒かったです。途中で対応していただきありがとうございます。
- 会場が寒かった（途中で改善されてよかった）。
- 前半は会場が寒かったです。
- 少し寒かった。
- スライドが小さく見づらかった。
- マイクからお顔を離されてお話しして下さる方が多く、後方端っこに座っていると聞き取りづらかった。またパワーポイントの字や写真も小さくて読めなかった発表も多く、残念。
- 会場が悪い。マイクの音が聞こえない。せっかくきたのに残念。
- 声が聞き取りにくかったです（マイク）。
- 前半は会場が狭かった。

### <進行>

- 準備、運営、ご苦労様です。田村さんの進行が良かったです。
- よかったと思います。司会の女性もテンポがよくよかったです。
- 進行がスムーズで気持ち良かったです。
- フランクな雰囲気（オープンスペースと椅子配置など）を作られていて、とても良かった。
- 休憩時間をもう少し早めにとってもよかったです。
- サミットと名うてるだけあって、学会のようなかた苦しさがなくて良かったです。
- もっと一般市民が通りがかりにふらっと入れるような方法があればいいと思います。
- トイレ休憩がほしかったです。
- 少し長いかなと思いました。
- 少し長いように思えた。
- 発表時間を長くしてもらえばと思った。
- 意見交換会はいくつかテーブルを用意して小団体を作って行い、次に全体へとすれば、名刺交換もでき良かったのではないかと。
- 一つ一つの事例紹介が短かった。もう少し具体的に聞けるような時間配分だといい。

### <内容>

- 魚道を含めて、色々な法的な話しも少しほしい。
- 基調講演の島谷先生が、今日は雑談の会と述べられたように、非常に楽しく拝聴できました。
- 初日のサミットのみですが、全般的に満足しています。
- 満足
- 四国でやりたいです。
- 満足
- 満足
- 大満足です。
- 大変満足しました。ありがとうございました。
- 楽しかったです。
- 楽しかったです。また参加したいです。
- とても楽しかったです。又お知らせください。
- 興味を持って話しが聞けました。今後の皆様の活躍に期待します。応援もしたい。また次回参加させてもらいた



と思います。

- 今後も継続して開催していただきたいです。
- 継続的に開催していただきたい。
- 改善点はとくにないです。またこのような事例紹介をしていただきたいです。
- 面白く学ばせていただきました。
- 大変参考になった。
- 色々な話しが聞けて楽しかった。
- 色々な事例が聞くことができ有意義でした。
- OK
- 活動されている方々の熱意が伝わってくる報告ばかりでした。ご苦労様でした。
- 場、運営、プログラム共に素晴らしかったです。ありがとうございました。
- 様々なお心配りを感じました。本当にありがとうございました。

#### <その他（今後のフォローアップ等）>

- 組織内の情報共有の参考として、発表スライドを提供いただきました。ありがとうございます。（紙が多くなりそうであれば、開催後に期間限定のHPへのアップとかご検討いただけないでしょうか。）
- 素晴らしい場をありがとうございました。今回の成果を参加できなかった方たちにも共有できるようにまとめていただけるとありがたいです。
- 満足。もっと神戸市内の環境保全団体、神戸市環境局、神戸新聞等にPRして、有意義な会の存在をPRしてほしい。



### 小さな自然再生サミット2019神戸大会 参加者アンケート集計結果

---

2019年2月7日

日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF茅場町ビル7階  
公益財団法人リバーフロント研究所 内

電話:03-6228-3865 Fax: 03-3523-0640 E-mail: [info@a-rr.net](mailto:info@a-rr.net)

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>

---